

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 4月 10日

事業所名 エンジョイくれよんはうす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			放課後等デイサービスの時間と重なる際に空間が狭くなりやすいので、活動や物の配置等工夫しながらスペース確保を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		1人1人の負担がないように割り振りで調整しています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			引き続き子どもたちが分かりやすくかつ過ごしやすい環境を目指し、適切な配慮を行って参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		換気・消毒等を徹底し、生活空間の提供をしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の療育業務の中で気づいたことを職員間で共有し、PDCAサイクルにつなげ改善に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査以外にも日頃から保護者の方との会話をし、業務改善するよう心がけています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページを新設したので、そちらで公表を行うことが出来るようになりました。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的に職員研修を行っておりますが、必要に応じて研修の種類や回数を増やしていきたいと思っております。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		子どもの課題・分析を行い、よりよい支援に繋がるよう計画書の作成を行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		面談による聞き取り及び、アセスメントシートを取り入れています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけでなく、保護者等に関しても必要に応じて対応しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画をチームで共有し、適切な支援が行えるよう努めています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で意見交換をしながら、プログラム立案が行えるようにしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月季節の行事などを取り入れた活動予定表を作り、活動が固定しないように工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		能力や特性が多様であることに配慮し、どの子ども楽しみながら成長できるよう心掛けています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		今後も打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援中に気になった点はその都度確認するようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日の様子が分かりやすいように留意しながら記録を取っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		お子様の成長に合わせて計画の修正を心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス担当者会議は今のところないですが、あった場合には積極的に参加します。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医の指示は必ずもらうようにしています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者要望に応じて連携を図っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援員・保護者の方と協力しながら情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後、研修会等あれば積極的に参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		ニーズを踏まえ検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		機会があり次第積極的に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃からお迎えの際等に保護者の方と共通理解を図っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者の方から希望を頂いた際には面談を通してペアレント・トレーニング等を行っております。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者の方に計画内容の説明・同意を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談を受けた際には面談の提案を行い、必要な助言や支援を常に行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在には行っておりませんが、保護者の方々のニーズを調査し、実施を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談窓口を設置し、契約時に説明をしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動予定表を毎月発行しています。その日の出来事は口頭にてお伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に関してのマニュアルを策定し、個人情報を扱う上での注意点を共有しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや文字での提示など、理解度に合わせた提示の仕方を工夫しています。保護者の方とは日頃からコミュニケーションを取るように心がけています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後実施を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			職員には周知していますが、保護者様には今後ホームページ等で情報を周知していきたいと思っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		研修時に避難訓練等の必要訓練を定期的に行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートを活用し、お子様の状況を把握しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		必要の際には診断書などのコピーを頂き、おやつや食事提供時に再度確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々スタッフ間で共有・対応の検討を行っております。また、ヒヤリハット報告書を作成しております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に虐待防止研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束マニュアルを策定し、職員研修を行ったうえで必要があれば保護者の方へ説明を行い、計画書に記載したうえで実施しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	---------	------------------------------

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。